

京都
Kyoto
京都市



嵐山からさらに北に上がって嵯峨野を抜けて、
この辺りは鳥居本というところです。

人が多すぎて、クルマが往生する龍安寺のあたりと違って、
普通の観光地なみの人出です。

ここはちょっと、奥すぎるせいでしょうね。
歩いて戻るのも大変ですから。



でも、街並みの綺麗さは、祇園界限にも引けを取らん感じですよ。



こんなもん見つけました。古道具屋さんかな？
昔の”あなか”ですね。さすがにこれを使ったことは
ありません。



この時間帯（10:00前）は、まだ近所の人が散歩してるぐらいのもんです。

京都いうても、洛中とはちょっと雰囲気違います。



灯が入ったところ見てみたいな。



店の奥の戸板に板絵が描かれています。
一対のもう片方が何の絵だったか思い出せない、、、。

写真の技量が足りなくて、ちょっとリアルの時の
おおっと、って感じた雰囲気出せてません。



茅葺の屋根 綺麗にカットされてる
そうしないと、きっとゴミが溜まるんだろうな。凸凹だと。



家の裏手の山の斜面にススキが生えてるんですが、
わざわざ植えたのか、と思うぐらいこの茅葺の家と
マッチしてる。植えませんよねえ、さすがに。





お地蔵さんかあ。

昔、行倒れでもあったんかなあ。





柿が色づいていますが、とてもまだまだ食べられるものではありません。道端にあるからいうて、勝手に取ったらあきませんけどね。

そして奥の方に同じ色のが見えてきました。







こっちはかなり年季が入ってます。

苔ががっつり覆ってますけど、表面だけなんでしょう。

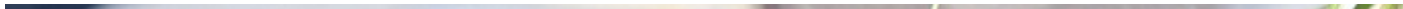
ああでも、ちょっと住むのは嫌かも。

子供だったら、友達連れてきにくいでしょうね。



鳥居本って、この鳥居の門前やから？
京都市内、鳥居ぎょうさんありますけど、ここ以外にも
鳥居本ってあるんかなあ。







なんかちょとこの、くたくたになったところがいいですね。

これできっと、中に入ったらピカピカなんですよ。

田舎なこってすさかいになあもあらしまへんねんけど、、、
とか言いながら、ピカピカの鮎がポンと出てきたりするんやろうなあ。

京都やからなあ、、、。



山全体が神域ってことですね。

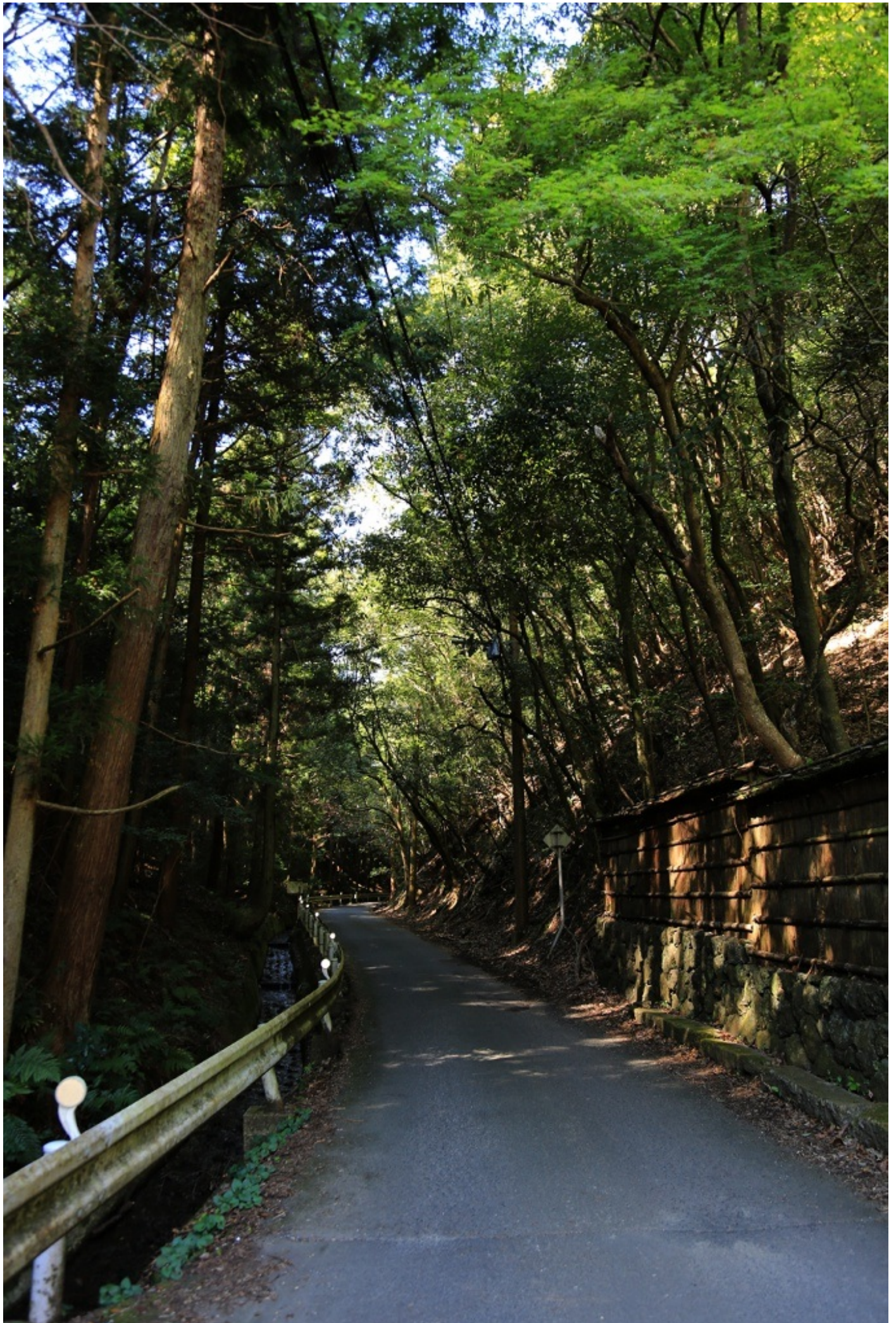
さすが愛宕さん。

洛西とか歩いてると、あっちこっちで愛宕さん参りの

石灯籠とかに出くわします。

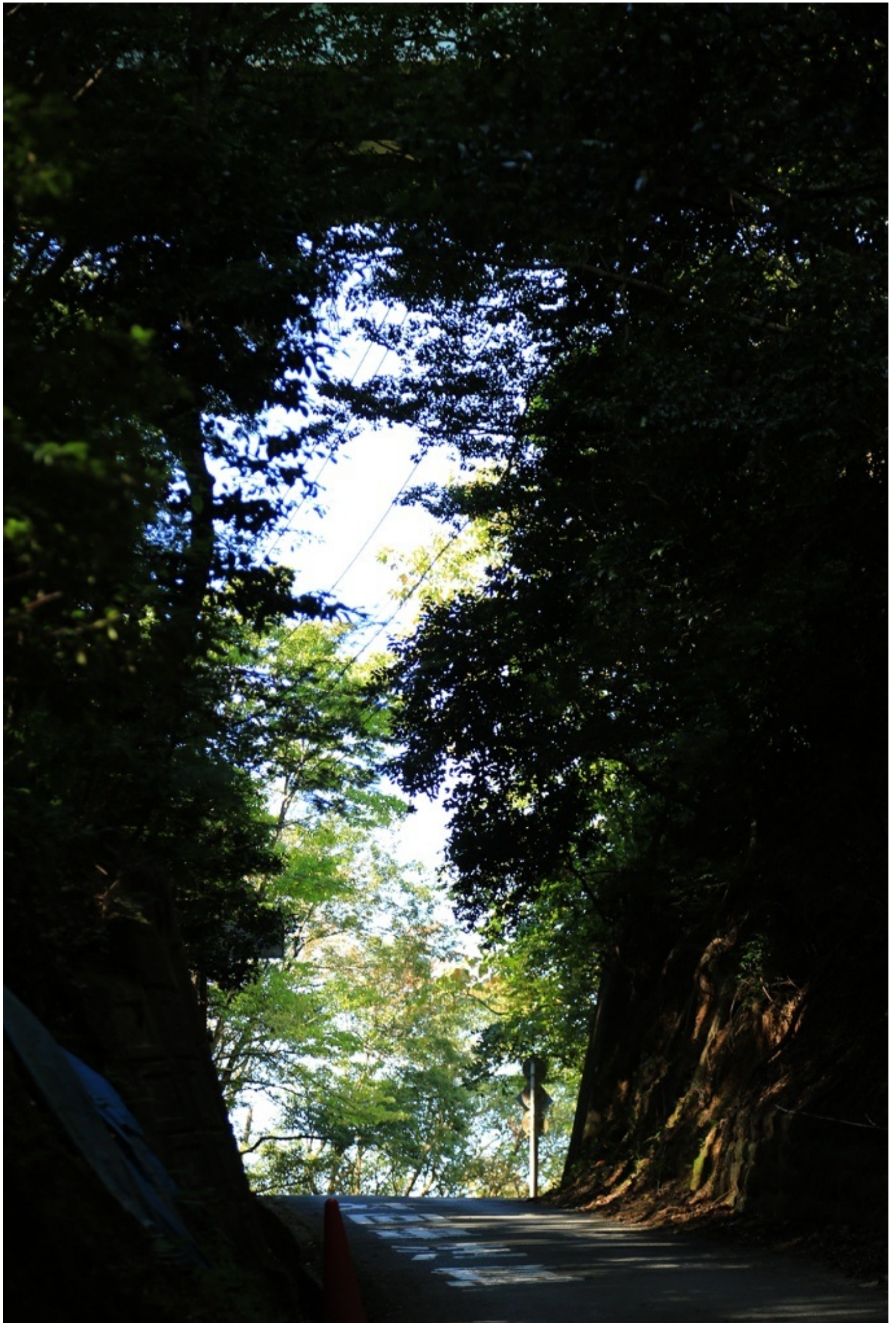
何キロ離れてるゆーねん、てところに、ボンと立ってたり。

あーこんなところにあったんか。



でも、今日行くのはこっちの道。
こっからずっと上りかぁ。自転車、無理そうやなあ。





はあはあ、、、峠やあ。六丁峠か。名前なんかどうでもええわ。

20分ぐらい登ったかなあ。



降るのか・・・？

降るってことは、帰りは上りやぞまた。

ほんまに行く？

行きました。感覚的には顔から坂に突っ込んでいく感じです。
たいていもっと本格的なサイクラーとすれ違ったりするんですけど
今回は一度もすれ違いませんでした。





落合橋から清滝川

さすがいつ来ても清滝は水が綺麗。



このトンネルを抜けて、さらに行けば保津峡に到達して、
その先にある水尾を目指そうかなと思ってたんですが、
そこも結構上りがあるはずなので、今回は断念。
でも、とりあえずトンネルだけは抜けます。

ちなみに、僕以外に人はいません。
たまーに軽自動車エンジン音を全開にして走っていきます。





左、清滝川 右、保津川

水の色がいいなあ。

なんか、来た甲斐があったかも。



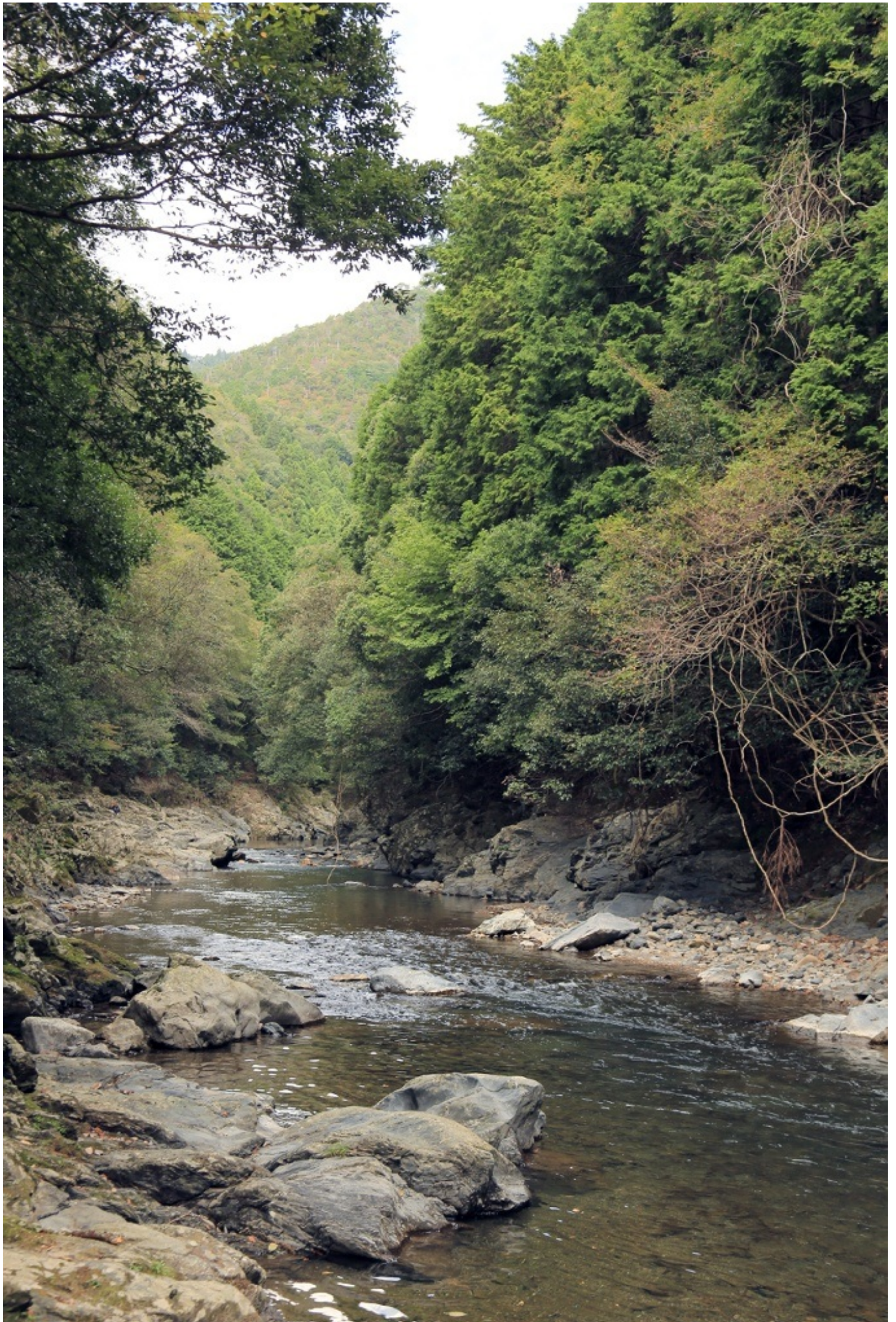


この断崖絶壁、奇岩ゴリゴリな風景が京都市内。いうても洛外ですけど。
嵐山あたりでノラノラしてる外国人観光客にも見て欲しいな。

僕も初めて見たんですけどね。



自転車を担いで、清滝川にいました。
ちなみに保津峡は降りるの禁止されてます。
あまりにも危険なので。



ええわあ〜。マイナスイオンでまくりやなあ、ここわ。
けど、自転車で上がんの厳しそうやなあ、普通のチャリやし。

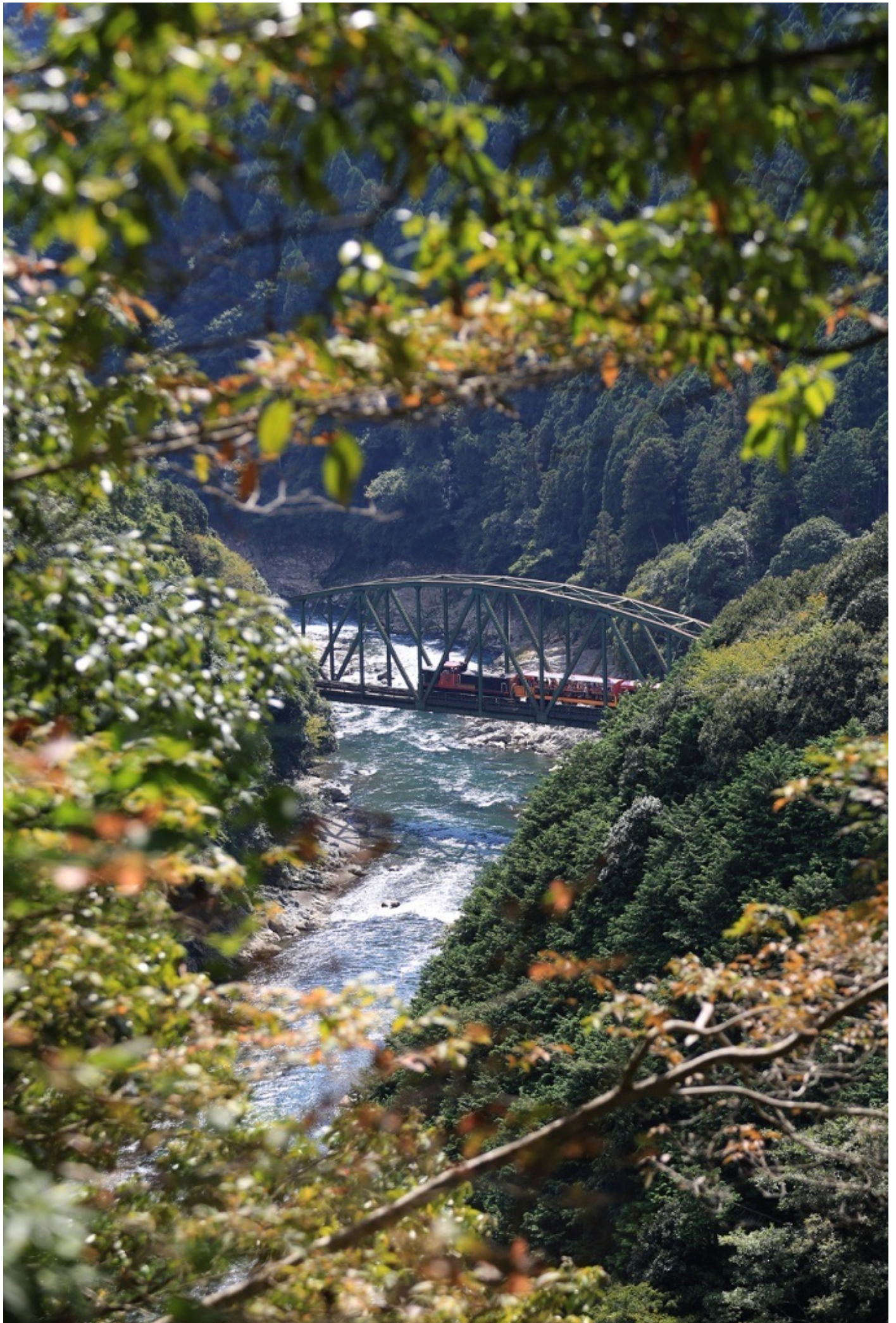


でか！



痛そう、、、と思ってつまんでみたら痛かったです。

これは乗せたわけではなく、乗ってたんです。
一応、ポリシーとして”作った写真”というのは撮らないようにしてます。



また、六丁峠を越えて鳥居本に帰ることに。
その途中で、保津峡の鉄橋を渡るトロッコ列車を見ました。

ここを戻らなければ、このポイントには出会えなかったなあ。



アケビなんて見たの、何年ぶりかなあ。
ぷっくりとして可愛いんですが、これ、人間の食べ物だとは
どうにも思えないんですよ。猿用でしょ、やっぱり。
レシピとか載せられてもなあ、、、。観賞用ならまだしも。



もうちょっとで峠やあ。
がんばれー。

で、そのあと、また一時間ぐらい走らないといけないんですけど。



ごくろうさん。ありがとう、こんなええところまで運んでくれて。

真下魚名の既刊

- [Travelogue ep.8 タルトまで6 0 km](#)
- [京都路地入-kyotologie- 萩を巡りて](#)
- [Travelogue ep.7 晩夏を探して](#)
- [passer un après-midi 11午後の過ごし方](#)
- [京都路地入-kyotorogie 祇園祭 後編](#)
- [京都路地入-kyotorogie 祇園祭](#)
- [京都洛以外-kyoto Lucky guy 三室戸寺](#)
- [京都路地入-kyotorogie 一保堂](#)
- [京都路地入-kyotorogie 無鄰庵 茶室](#)
- [京都路地入-kyotorogie 無鄰庵](#)
- [京都路地入-kyotorogie 吉田山](#)
- [サマータイム・ブルーズ 2](#)
- [京都路地入-kyotorogie 一条通](#)
- [桜守りの庭 後編](#)
- [Travelogue ep.6 嵐電 後編](#)
- [Travelogue ep.6 嵐電](#)
- [梅催い、雨模様](#)
- [「passer un après-midi 10午後の過ごし方」](#)
- [冬の手紙 2](#)
- [冬の手紙](#)
- [空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+4.5](#)
- [空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+4](#)
- [ilminaria 2](#)
- [ilminaria](#)
- [Flower Garden II](#)
- [Travelogue ep.05 山へ行く](#)
- [Flower Garden](#)
- [Travelogue ep.04 蓼科へ](#)
- [passer un après-midi 9 午後の過ごし方」](#)
- [Monochroque](#)
- [passer un après-midi 8 午後の過ごし方」](#)
- [passer un après-midi 7 午後の過ごし方」](#)
- [空と菖蒲と、蓮と](#)
- [空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+3<](#)
- [空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+2](#)
- [Travelogue ep.03 近つ淡海](#)
- [passer un après-midi 6 午後の過ごし方」](#)
- [Photo「空と窓と、京都水族館はペンギンで一杯です」](#)
- [「passer un après-midi 5 午後の過ごし方」](#)
- [Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou+1」](#)
- [Photo「花水硝」](#)
- [「passer un après-midi 4 午後の過ごし方」](#)
- [Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです tou」](#)
- [「passer un après-midi 3 午後の過ごし方」](#)
- [Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです Qu」](#)
- [「passer un après-midi 2 午後の過ごし方」](#)
- [Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです nYa」](#)
- [「passer un après-midi 午後の過ごし方」](#)
- [Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです na」](#)
- [「Travelogue ep.02 桜巡り」](#)

- ー 僕カノシリーズ ー バックナンバーズ
- [「僕が彼女に殺された理由（わけ）」](#)
- [「僕と彼女の選択の事由（わけ）」](#)
- [「僕と彼女はそれしか答えを見つけられなかった」](#)
- [「僕と彼女はそれでも答えを探し続ける」](#)

[「僕と彼女と複雑な関係者たち」](#)
[「僕と彼女と単純な関係式」](#)
[「僕と彼女と校庭で」](#)
[「僕と彼女と校庭で 夏」](#)
[「僕と彼女のアリア」](#)

「黄金の麦畑」 [1.Largo](#)
[2.Allegro molto](#)
3.Adajo

「黄昏の王国」
[イーリアス編](#)
[アリシア編](#)

[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです na」](#)
[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです mu」](#)
[「Travelogue ep.01」](#)
[Photo「Hina」](#)
[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです itu」](#)
[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです yo」](#)
[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです mi」](#)
[Photo「からくれないに ni」](#)
[Photo「bleu, jaune, vermillion」](#)
[Photo「H.45」](#)
Photo「Fly me to Paris I ～XIV」
[Photo「祇王 こけのころも」](#)
[Photo「空と雨と6月と」](#)

小説

「ネガティブズ2」
[「ネガティブズ」](#)
[Photo「空と僕と自転車とni」](#)
[Photo「空と僕と自転車と」](#)
[Photo「空と椿と木蓮と、そして花水木」](#)
[Photo「空と雲と、ぜんぶ鳥のいたずら」](#)
[Photo「空と雲と、ときどき春の野を行く」](#)
[Photo「空と月と、夜桜デート」](#)
[Photo「空と木と、ときどきの梅暦」](#)
[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです ni」](#)
[Photo「空と窓と、京都の路地は奥に深いです」](#)
[Photo「空と木とたまに月」](#)
[Photo「からくれないに」](#)
[Photo「空と雲と、ときどき月」](#)
[Photo「夢みる桜」](#)

— その他 —

[傘がない](#)
[夕暮れの赤ちようちん](#)
[いもうと](#)
[サマータイム・ブルーズ](#)
[危険なドライビングマジック](#)
[デフラグメント](#)
[インフルエンス あのころの僕たち](#)
[花舞い、名残り雪](#)

[詞画集「ただ憧憬だけを」](#)
[画集「彼と彼女の表紙画集」](#)